

# 坂戸市立歴史民俗資料館だより

## 第3号

令和4年5月31日刊

### 【特集記事】埼玉の人形文化、坂戸にも



# 麗しの雛人形が仲間入り

先日、見事な雛人形が資料館の新たな仲間として加わりました！子どもの健やかな成長を願う「雛祭り」は、中国由来の節句行事を起源として、江戸時代に成立しました。本資料をご寄贈いただいたのは、坂戸や浦和を拠点として長年にわたって人形作家として活躍する方です。ご家族の誕生に合わせて作られた華やかな人形には、身近な人の健康や幸せを願う気持ちが込められています。

本資料は、「江戸木目込人形」と呼ばれる技法を使って作られています。「木目込人形」とは、桐の粉を原料とする粘土で作った土台に、布地を着せて人形を作る技法です。江戸時代に京都で生まれたこの技法は、武蔵国（現在の東京都・埼玉県）へと伝わり「江戸木目込人形」が成立しました。雛祭りの流行によって、江戸周辺では人形の需要が増加し、埼玉県内では岩槻が主要な産地として成長しました。岩槻は現在まで「人形のまち」として知られ、二〇二〇年には人形を専門に取り上げた「岩槻人形博物館」がオープンしています。

感染症拡大防止による休館措置のため、桃の節句に合わせて雛形の展示をご覧いただくことはできませんでしたが、現在は雛人形と一緒にご寄贈いただいた五月人形を展示中です（六月下旬までを予定）。坂戸で花開いた、埼玉の人形文化にふれてみませんか。

## 令和4年度 展示情報



常設展示  
リニューアル  
オープン！  
資料館2階の  
常設展（考古・  
民俗）が新しく  
なりました。

考古展示ではご要望が多かった通史展示を追加。縄文時代から江戸時代まで、坂戸の歴史をまとめてご覧いただけます。民俗展示では「坂戸の生業」「昔の暮らし」の2つのテーマを設定。坂戸の地理や周辺地域との関わりについても触れています。これまでと大きく変わった常設展示を、是非ご覧下さい。

展示中  
上半期企画展示「稲・米・飯」

今回の展示テーマは「お米」。お米の生産・流通・消費に関わる民具を展示します。昔懐かしい農具や調理道具をご覧ください。か、近代に賑わった坂戸の米市についても紹介しています。お米を通して見える、様々な社会の変化について考えてみませんか。資料館1階ホールにて、令和四年九月末まで展示しています。



毎年恒例の出土品展を、今年も開催します。今年は、西インター周辺開発に伴って実施された、下田遺跡の発掘調査成果をご紹介します。約十年間にわたる調査の成果をまとめてご覧いただける、貴重な機会です。坂戸市文化会館「ふれあ」にて、令和四年八月十日（水）～八月十六日（火）を予定しています。※昨年とは開催時期が異なります。ご注意ください。

予告  
「第二十五回埋蔵文化財出土品展」

今年も開催します。今年は、西インター周辺開発に伴って実施された、下田遺跡の発掘調査成果をご紹介します。約十年間にわたる調査の成果をまとめてご覧いただける、貴重な機会です。坂戸市文化会館「ふれあ」にて、令和四年八月十日（水）～八月十六日（火）を予定しています。※昨年とは開催時期が異なります。ご注意ください。



連載  
学芸員のイチオシ!

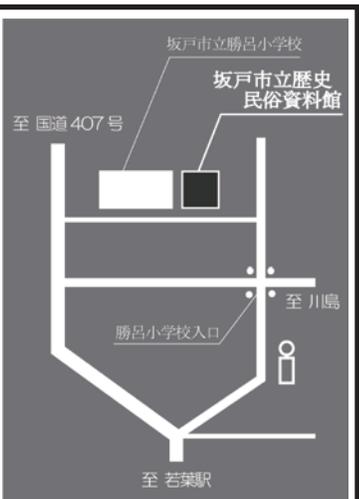
今回ご紹介するのは有孔罌付土器です。有孔罌付土器とは口縁部の下に罌状の突起が全周し、それに沿うように小孔が開けられているのを特徴とする縄文土器の一つです。縄文時代中期頃の長野県や山梨県を中心とする中部高地に出現し、関東地方などに伝播したと考えられています。写真は令和2年度の発掘調査において出土したものです。坂戸市内からの出土は初の事例であり大変貴重な成果となりました。このような特徴的な形を有する有孔罌付土器はどのように使われていたのでしょうか。口縁部に皮などを張り太鼓とした説や、お酒を醸造する容器として使用したという説などいくつかの説が提唱されていますがはっきりとした使用用途は判明していません。（渡辺）



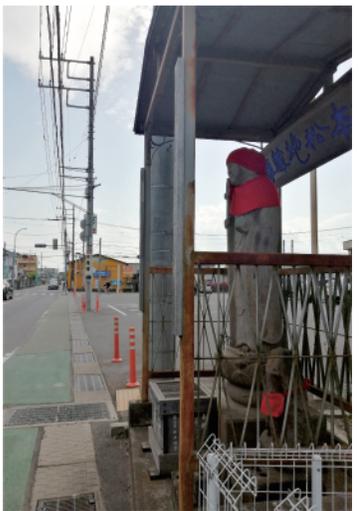
今回の紹介するのは、一本松の地蔵菩薩です。本来「地蔵菩薩」とは、釈迦の入滅から弥勒菩薩が現れるまでの間、人々を救う仏とされていますが、交通安全や子どもへの救済など、実に様々な顔を持っています。一本松の交差点は、六本の道が交わっており、あの世とこの世の境目である「六道の辻」になぞらえて、地獄に現れる救済者としてお地蔵様を安置したのかもしれない。大正十一（一九二二）年に造立されたこの像は、前回の東京オリンピック（一九六四）に伴う道路拡

連載  
まちかたど  
文化財スナップ

今回ご紹介するのは、一本松の地蔵菩薩です。本来「地蔵菩薩」とは、釈迦の入滅から弥勒菩薩が現れるまでの間、人々を救う仏とされていますが、交通安全や子どもへの救済など、実に様々な顔を持っています。一本松の交差点は、六本の道が交わっており、あの世とこの世の境目である「六道の辻」になぞらえて、地獄に現れる救済者としてお地蔵様を安置したのかもしれない。大正十一（一九二二）年に造立されたこの像は、前回の東京オリンピック（一九六四）に伴う道路拡



坂戸市立歴史民俗資料館だより  
第3号  
【発行】坂戸市立歴史民俗資料館  
令和4年5月31日  
〒350-0212  
埼玉県坂戸市石井1800-6  
TEL 049-284-1052  
FAX 049-284-1128  
【利用案内】  
入館無料・月曜日～金曜日 開館  
(祝日・年末年始のぞく)  
午前9時～午後4時



幅工事によって現在の場所に移るまで、地名の由来となった松の木とともに交差点の角に立っていました。時は流れ、町並みは変わりましたが、行き交う人々をお地蔵さまが見守る交差点の風景は、今も引き継がれています。